

2022年度の主な改定と変更

1. 認定・審査の手順と方法 (2021.12.21)

項目	変更前	変更後
2.1.1	大学評価・学位授与機構	大学改革支援・学位授与機構
3.3	また、JABEEは、JABEEが認めた者を審査団長の承諾を得てオブザーバーとして審査団に同行させることができる。	また、JABEEは、JABEEが認めた者を審査団長及びJABEE対応責任者の承諾を得てオブザーバーとして審査団に同行させることができる。

2. 審査の手引き (2022.6.21)

項目	変更前	変更後
2.4	審査団や審査チーム内での議論の場 に限り、審査団長又は主審査員の要 請に応じて参考意見を述べることは できるが、判定には関与できない。	審査団や審査チーム内での議論の場 に限り、審査団長又は主審査員の了承 を得て発言することはできるが、判定 には関与できない。
2.6		以下の説明を追加： ・教育機関内におけるインターネット 接続の便宜
2.6	・必要に応じて、教育機関内又はホ テルで使用する専用のパソコン、プ リンター、液晶プロジェクターなど	・必要に応じて、教育機関内又はホテ ルで使用する専用のパソコン、プリン ター、液晶プロジェクターなどの借用
4.2	認定基準は共通基準と個別基準に分 かれて定められているが、審査の実 務に関わる書類や書式については必 要事項を組み合わせたものが認定種 別ごとに用意されている。	認定基準は共通基準と個別基準に分か れて定められているが、審査の実務に 関わる書類や書式については基本的 に共通のものを使用する。ただし、必 要事項を組み合わせたものが認定種別 ごとに用意されている場合があるので注 意する。
4.12	直近に実施された基準の全項目につ いての審査（新規審査、前回の認定 継続審査、変更時審査）	直近に実施された基準の全項目につ いての審査（新規審査、前回の認定継続 審査）
4.13	注1：例えば基準2の中の複数の点検 項目の判定結果のうち最下位の判定 結果がDであった場合、基準2の点 検大項目の判定はWとする。	注1：例えば基準2の中の複数の点検項 目の判定結果のうち最下位の判定結果 がDであった場合、基準2の点検大項 目の判定はDとする。
4.14	2019年度より、中間審査の審査項目 は～対応する部分についてのみ審査 を実施する。	左記の文章を削除

3. プログラム点検書・審査報告書 (2022.6.21)

- ・ 「基本事項」シートの前回審査の認定基準と実施年度への記入に関する注意書きを変更
- ・ 「審査項目と前回審査の結果」シートから「2010年度～2015年度適用基準」の記載欄を削除し、「2019年度～適用基準」の記載欄を追加
- ・ 「審査結果と指摘事項」シートの「前回判定」欄に2019年度基準での判定結果を記載する列（2列）を追加

4. 審査のガイドライン（第3版）（2021.12.21）

項目	変更前	変更後
2 (2)	注：Googleのサービス名称がG SuiteからGoogle Workspaceに変更されたが、Google Meet他の既存ツールの互換性は維持されている。	注：プログラム運営組織と審査団で合意した場合は、Google Meetと同等のセキュリティが保証された他のツール（例えば、Zoom）を使用しても構わない。ただし、そのことにより新たな費用が発生する場合でも、その費用をJABEEは負担しない。
4 (2)	審査団として共通的に実施する教育機関責任者との面談（Web会議）の取りまとめ	審査団として共通的に実施する教育機関責任者や関係教職員との面談（Web会議）の取りまとめ
5 (1)	実地審査に代わり、リモートでの情報交換が増加することが予想されることから、秘密文書のやり取りはJABEEメンバーページを使用する原則を遵守し、何らかの理由でメール添付等他の手段で送付する場合は暗号化して（パスワードを付けて）送付する。	実地審査に代わり、インターネットを介した情報交換の増加が予想されることから、秘密文書のやり取りはJABEEメンバーページを使用する原則を遵守する。もし、何らかの理由で電子メールの添付書類等の手段で秘密文書を送付する場合は、当該文書を暗号化して（パスワードを付けて）送付する。

以上